

どなたもお気軽にご参加ください

再生産労働とベーシックインカム

私たちは今、未知数の多い時代に暮らしています。そして、身近な変化と利便の希望を求め、世界の動向が注目を集めています。

（現代を考える連続講座は、これまでさまざまな分野の講師と意見交換をしながら考えを深め、ともに進む方向を探っていきます。）

- 近年、貧困・格差の拡大が深刻となり、その克服策として「ベーシックインカム（BI）」が世界的に注目されています。
- 既存の「福祉国家」の社会保障では、「働いて稼ぐ」そのリスクには社会保険で対応。それができない場合に公的扶助で対応」という仕組みになっています。
- しかし、賃労働の不安定化などによって、社会保障制度の行き詰まりが指摘され、その代替案として「ベーシックインカム」が急浮上しているのです。
- BIは、「全ての個人に、その生活に必要な所得を無条件で保障」しようというシンプルな政策構想です。労働が不安定になっても生活が脅かされない制度の構想も可能なのです。
- 講師の堅田さんは、「働いて稼ぐ」をめぐっては二つの神話があると指摘します。賃労働と家事労働（不払い労働）という性別役割分業に基づいた「標準モデル」批判を通じてBIの意義を展開されています。
- あらためて労働や家族、社会保障を問う直すことによって、BIの可能性を考えてみましょう。



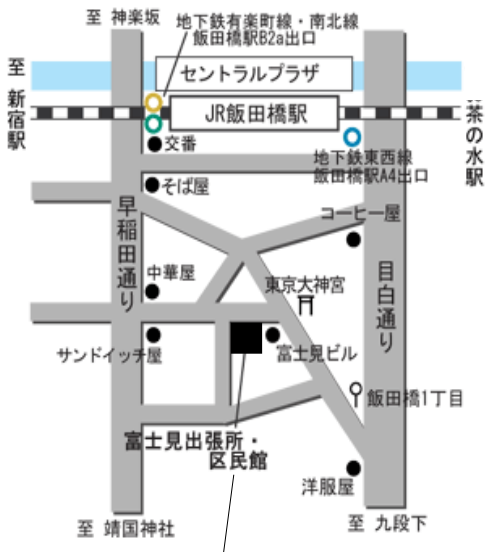
★講師: **堅田 香緒里** さん
法政大学社会学部教員、ゆる・ふえみカフェ運営委員

★日時: **2月23日(金)**
午後6時半～8時半(午後6時開場)

★会場: 千代田区 **富士見区民館**

★資料代: **800円** ★質疑・意見交換の時間があります

- 【講師プロフィール】
- ・静岡県生まれ。階級とジェンダーの交差に関心を持っており、貧困と社会保障、女の生と労働、ベーシックインカムの夢と現などについて考えている。
 - ・共編著に『ベーシックインカムとジェンダー—生きづらさからの解放に向けて』現代書館(2011年)、『社会政策の視点—現代社会と福祉を考える』法律文化社(2011年)。
 - ・共著に“Basic Income in Japan:Prospects for A Radical Idea in A Transforming Welfare State” Palgrave Macmillan(2014年)他。



JR・メトロ飯田橋駅下車 徒歩5分
住所: 千代田区富士見1-6-7

主催: 現代を考える連続講座実行委員会 (連絡先) TEL 03-6380-9824
後援: 地方自治研究会、新社会党東京都本部 FAX 03-6380-9834